

祐善寺だより

第46号

発行日

2021年7月7日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

新型コロナウイルス感染の

終息が見えませんが!

ワクチン接種はお済みですか?!



昨年来、中国起源の新型コロナウイルスは、世界中を震撼させています。6月1日現在で、AFPが発表した統計によりますと、世界の新型コロナウイルスによる死者数は355万人、感染者数は1億7060万人に達するとされています。驚くべき数字です。

NHKがまとめた6月16日時点のわが国の新型コロナウイルス感染者数は77万9262人で、死者数が1万4284人と発表されています。

わが国の感染対策をめぐっては、政権のコロナ対策が後手後手である、場当たり的である、専門家の提言を聞き入れようとしない、等々の批判が寄せられてきましたが、その指摘は当たっています。

国民の8割近くが、新型コロナウイルス感染状況が収まらない現状において、東京オリンピック・パラリンピックは中止、或いは再延期すべきと世論調査で答えていますし、感染症専門家分科会も、「この状況でオリンピックの開催は、普通ならあり得ない。」(分科会長)と提言していますし、何よりも天皇陛下

ご自身がご懸念を示されておられるのに、中止・再延期どころか、政権は、それらの悲痛な声を無視して観客を入れて、それも一万人もの観客を入れてオリンピックの開催を強行しようとしています。

オリンピックを強行開催して、コロナの感染が拡大しパンデミックに陥って医療現場が逼迫して人命が失われたらどうするのか?誰が責任を取るのですか?政治家が責任を取ったことがありません。

そのようなかで、感染防止に有効とされているワクチンの接種率も、わが国は、情けないことに主要先進国で最下位。オリンピックを強行開催しようとしているのに、ワクチンも十分に回ってこなかったのです。

最近になって、ようやくワクチン接種が進み始めてきました。皆様も、ワクチンの接種はお済みですか?

ワクチン接種が行き渡り、マスク無しで、普通に出会える日が早く来てほしいですね。でも、まだまだ気を緩めないでコロナ感染を防止しましょう。

感染対策に万全を期して
永代経会を厳修します
お揃いでご参詣下さい!

今年の永代経会は、例年通り8月7日(土)に厳修させていただきます。

左記の通り、コロナ感染予防対策に万全を期してお迎えますので、皆様ご家族ご親族お誘いあわせの上、ご参詣下さいませ。

記

永代経会の感染防止対策

- ① 本堂・庫裡・トイレ入口に手指消毒スプレー、マスク、除菌ティッシュ等を用意する
- ② トイレ手洗い場には、ペーパータオルを用意する
- ③ 本堂の戸を全開にする
- ④ 法話者と参詣席とは、2mを空ける
- ⑤ 参詣席も、出来るだけ空ける
- ⑥ お齋は、手作りの永代経料理をやるめてお弁当を用意し、お給仕は省略する
- ⑦ お齋用テーブルは、可能な限り充分ディスプレイスを取る

皆様、出来るだけマスク着用でご参詣下さいませよう、お願いいたします。

投稿ペーパー

西田中 上野 みよ子

新聞一面記事、「緊急事態宣言」福井県コロナ感染拡大注意報、職場学校対策継続、コロナ禍騒動の毎日が一年以上も続いていきます。行政・医療機関の皆様、本当にご苦労様です。ワクチン接種も高齢者優先とか、感謝の外ありません。

先日は、貴重な御住職の著書を頂き有り難ございました。

超高齢社会の間、無縁社会などなど、世の中の厳しさを痛感し身近に迫る現実には戸惑うばかりです。今、私達に出来る事、せめて自分自分の立場で精一杯感染予防、マスク着用など守りましょう。一日一日を大切に、オリンピック大会の開催もあと一ヶ月余り、無事開催されることをお祈りいたします。

どうぞ、お寺様皆々様の御健康をお祈りいたします。

目覚めますように

鱈江 桑原 文子

朝 目が覚めること

当然のことと思っていた

あと数年で80歳を迎えるわたし
目が覚めることはありがたいこと

年上の人が言われていた言葉
この歳になって
ほんとう そのとおりだと思う

朝の清々しい空気をいっばい吸い
花壇の花と会話し

野菜畑の野菜と会話し

木々の葉のゆれを見つめ
訪れてきてくれる小鳥をみつめる

コロナでスケジュールは
無にひとしい
ゆったりとすごせる日々
年金生活者のわたし
このくらいの過ぎかたで
ちよよいいのかも

コロナが収束したら
戸外へ飛び出し
人と語り 友と食し
羽根をいっばい伸ばそう
明日も目覚めますように

◆八十路川柳

小倉 野村 明 良

八十路すぎテレビの音で孫はなれ

(テレビの音がだんだん大きくなって気がつけば周りに誰もいなくなった)

八十路には月日すぎるは矢のごとし

(振り返れば若いころは昨日のようだ)

八十路すぎ寺のゆく末気にかかる

(寺離れ気になるな 先祖があつて自分がある)

『無縁社会』・『超高齢社会の間と成年後見』を出版！

住職 岡崎 賢

昨年の3月頃から新型コロナウイルスの感染拡大に伴って外出自粛(ステイホーム)が強いられていた時、私は無性にものを書きたくなりました。

私は、丁度、十年前にNHK総合テレビで放映された「無縁社会」・「無縁死」3万2千人の衝撃」の衝撃的な映像を、はつきり記憶しています。

毎日、90人近い人が、この国のどこかで、人知れず、誰にも看取られずに無縁死しているという衝撃的な報告を、忘れることができなかったのです。そして、その現実には、決して他人事ではないのです。

私にも、忘れられない、「孤独死」があります。数十年前に、女性のご門徒さんが孤独死して約一週間後に発見された時、まだまだ若僧だった私は、ショックで、落ち着いて読経もできませんでした。このような形で、お世話頂いたご門徒さんの葬送に立ち会ふ事の坊主としての頼りなさを問い返していたものです。

数年前には、私が民生委員として担当していた高齢の一人暮らしの女性が、自宅内で死亡し、二日後に宅配業者によって発見されたという孤独死もあります。私は、民生委員で訪問した時にはお元気で、畑にも立派な野菜が育っていました。あれから半月も経たずに、その女性は誰にも看取られずに孤独死してしまつたのです。民生委員としての無力感を感じざるをえませんでした。

私にとって忘れられないこのお二人の孤独死に、十年前にNHK総合テレビで視聴した「無縁社会」・「無縁死」3万2千人の衝撃」の衝撃が重なって、このたびの『無縁社会』・『超高齢社会の間と成年後見』の上梓となったことは、間違いありません。拙書の中で、私は、「他人事ではなく、明日はわが身として」という言葉を、何度も使わせて頂きました。

今や、わが国は、超高齢社会になってしまいました。そしてその、超高齢社会の最たる間が、私は、孤独死ではないかと思つています。そしてまた、その孤独死は、決して他人事ではなく、いつなごき、わが身の周りで起こりうることを、先のお二人の孤独死が、私たちに教えて下さっているのです。

超高齢社会に覆っている数々の間を、決して他人事ではなく、明日はわが身として、真剣に受け止めて頂きたいと思ひます。先日、福井新聞が拙書の出版を大きく取り上げて下さった時、大きな反響がありました。離れて暮らす母のことが心配、コロナも怖いけど、孤独死が、もっと怖い、等々。電話帳で電話番号を調べて、お電話を下さった方も、何人かおられました。ご門徒さんからも、ご支援・励ましを頂きました。皆、超高齢社会の間を、真面目に捉えて下さつておられることに、拙書出版の目的も少しは果たせているのかと、有難く感謝いたしております。

『無縁社会』・『超高齢社会の間と成年後見』
発行・東京図書出版

花だより



虫捕撫子 (ムシトリナデシコ)

写真の花は、虫捕撫子(ムシトリナデシコ)・別の名が小町草(コマチソウ)です。夏の初め頃からあちこちで見掛けるお馴染みの花ですが、私は何故かこの花を見る度、今は亡き母の懐かしいあの姿を思い浮かべます。

小町草見る度浮かぶ母の顔

額に少し汗滲ませて

花はイイですね…、ホント。その自らの優しい姿で人の心を慰めるだけでなく、今は亡き懐かしい人にまで引き合わせてくれるのですから…。有難いことです。嬉しいことです。私達の菩提寺の御住職は日頃、「人様を言はせ、

楽しませねばまつと、お浄土へ導かれる。」と話しておられます。

つん…。ということは、このムシトリナデシコをはじめこの世に咲く花々の全ては、阿弥陀様がおいでになるあのお浄土へ招かれているつていうことに…。なほほどナルホド。そんな沢山の花達に飾られているお浄土つて、さぞかし素晴らしい所に違いない。私も是非参らせて頂きたいものだ。そつだ！その為に今日から心を入れかえて、「人様を言はせ、楽しませる」ような生き方を心掛けることになつた。

虫捕撫子は江戸時代の終わり頃にオランダから入ってきた花で、我が国に咲いている多くの花々と比べれば、比較的新しい花と言えます。花が咲いている直ぐ下の茎から、粘り気のある液を出して虫を動けなくするので、この名前が付いたと言われています。(軍)

短歌

武生 松島 和子

御み堂の 前の枝垂れが五分咲きと

御住職より 通信写真

五分咲きと 通信下されし

枝垂れ桜

絵手紙を毎月くれる 嫁いとし

老いの身案じ一筆啓上

福寿草めでたき事の多くあれ

コロナ禍の威力 おおえて

迷走する日本

森松島 守

コロナ禍の中、最大の関心事は、国民の8割が開催中止または延期を、という意見の中、東京オリンピック・パラリンピックを、IOC、国、都が強行開催しようとしている事ではないでしょうか？

変異株が蔓延拡大し医療逼迫、崩壊状態、ワクチン接種も世界100位級の体たらく。国民に我慢だけを押しつける愚策。緊急事態宣言の身を検証せず当たり前のように延長し続けている。目的が、国民の命を守るため、ウイルス拡大を抑えるためではなく、オリンピックを開催するために行われていると感じているのは、私だけでしょつか？

国民としては、病气から奇跡的に復活した池江選手を筆頭に頑張っている選手全員を、日本人すべての人が応援し、かつ元気をもらいたいと思っています。

でも、今の現状が続くのであれば、断腸の思いであるが、中止はやむを得ないのではないでしょつか？

政府のトップは、開催は決まり文句の、「安全・安心」の四文字を唱えるだけ。誰のために、何のために開催に固執するのでしょうか。何をもちて、安全・安心と言えるのでしょうか？

保守王国・福井県。今こそ、今度こそ、国民の声に一切耳を傾けない国民不在の政治に、NOを突きつける行動を起したいものです。

令和3年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互つて護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようよろしくお願ひします。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座

(〇〇七七〇―九一三〇七二一)

・ 加入者(祐善寺)

へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

本堂の周りが 明るくなりました！

上野 三千男

近年の異常気象により、全国各地で大規模な災害の発生が見られます。当祐善寺においても、今年一月の大雪で裏山の杉の木十五本ほど、立ち折れになり、三月に処分した所です。

そこで、三月の役員会で協議し、今後の被害に備えるため、共同墓地北側の立木（森区所有地）伐採を計画し、森区に処分を依頼しました所、早く了解して頂き写真の通り、周りが明るくなり、環境が一変した所です。今後の環境整備についても、皆様のご協力をお願いします。



墓地北側の杉の木が大胆に伐採され、大変明るくなりました！

おくやみ

谷口とし子様（福井市中央）には、令和二年十月二日、行年九十六歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



渡邊幸子様（越前町天谷）には、令和二年十一月二十九日、行年九十一歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



上野秋治様（越前町新庄）には、令和三年二月八日、行年百歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



野村輝治様（鯖江市糺町）には、令和三年三月二十九日、行年七十八歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



山田ハツエ様（福井市門前町）には、令和三年四月二十四日、行年九十五歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



投稿募集

「祐善寺だより」投稿頁に、皆様からの投稿を募集します。

俳句、短歌、川柳、詩、花便り、政治やお寺へのご意見、日頃感じたこと等々、奮って投稿をお願いします。

次号の原稿締切は、9月30日です。よろしくお願いたします。

令和三年度年忌表

かけがえのない ご先祖様の年忌法要 をお勤め下さい！

本年度の年忌法要は、左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等をご確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいませよう、ご案内いたします。

- 五十回忌 昭和四十七年没
- 三十三回忌 平成元年没
- 二十五回忌 平成九年没
- 十七回忌 平成十七年没
- 十三回忌 平成二十一年没
- 七回忌 平成二十七年没
- 三回忌 平成三十一年・令和元年没
- 一周忌 令和二年没

第十五回

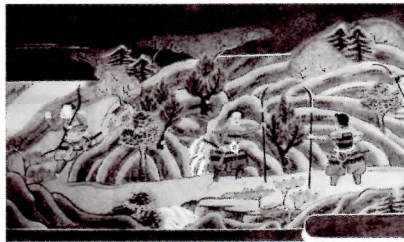
親鸞聖人御絵伝

べんねんさいど
弁円濟度



親鸞聖人が東国・常陸の国（茨城県）稲田に草庵を結ばれるや、聖人のお念仏の教えに帰依する人たちが後をたちませんでした。しかし、東国は元来、修験道の盛んな土地。聖人のお念

仏の教えが広まることは、当然の如く、修験道が衰えることでもありました。こうした有様に敵意を抱いた山伏の頭領である弁円は、聖人の殺害を企てます。



板敷山を往復していたことを察知していた弁円は、板敷山の頂で聖人を待ち伏せするのです。

右図、板敷山で待ち伏せする弁円の徒党たちがいます。左端には、聖人を待ち伏せするも聖人は現れず、し

びれをきらして下山しようとする弁円の姿が描かれています。

板敷山で親鸞聖人を殺害しようとした弁円でしたが、聖人が現れなかったので、刀や弓を携えて聖人の稲田の草庵へ乗り込むのです。ところが草庵では、聖人は穏やかな表情で弁円を迎えられたのです。その尊いお姿に接した弁円は、聖人に危害を加えようとしたわが心を恥じ、刀も弓も捨て、涙が止まらなかつたという。弁円は、聖人の前にひれ伏し、日頃の邪心を打ち明け、聖人に帰依したのです。

聖人は、その回心を慶び、弁円に明法房と法号を授けられたのです。

左図は、稲田の草庵の門。左奥に親鸞聖人、門から入ったところで立つて聖人へ向いているのが弁円。その前に、刀や弓が描かれています。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く伝えるために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟子西仏房の孫、淨賀法眼に描かせています。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。

（参考文献『親鸞聖人伝繪』『親鸞聖人 御絵伝』）

其の42



お盆（再録）

お盆は、正式には「盂蘭盆会」といいます。『盂蘭盆経』というお経にでてくる釈迦の高弟・目連尊者の物語に由来するものです。この盂蘭盆とは、ウランバナ（梵語：釈迦在世当時の言葉）を音訳したもので「倒懸」と訳されています。非常な苦痛をたこえたものです。

『盂蘭盆経』には目連尊者がお釈迦さまの教えにより、餓鬼道におちて苦しむ母を、百味の御食をもつて修行僧たちへ供養し、その功德によって救ったと説かれます。

この経説と「先祖の霊が帰る」という日本独自の民間信仰が結びつき現在のお盆のカタチが生まれたものと思われ、十六日にはお墓に戻るといって考えます。その行き帰りの目印として提灯が必要となり、送り火・迎え火が行われ、家庭には精霊棚を設け、先祖の位牌や仏具をおき、供養の品々を備えるようになりました。つまり、お盆を先祖供養の期間として捉えたのです。

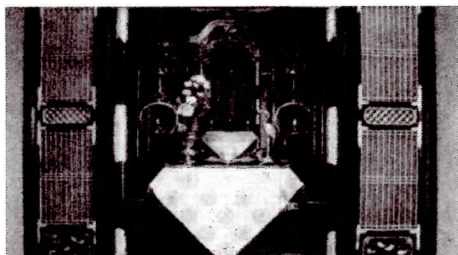
それに対して浄土真宗は、仏さまが

お墓と家庭を往復するという考え方をしません。家庭ではお内仏（お仏壇）に手を合わせ、お墓では墓石の正面に記した南無阿弥陀仏に手を合わせるだけです。仏さまに手を合わせるという意味では、家庭でもお墓でも同じことなのです。

ですから、お盆をお迎えするのは、亡き先祖の霊を救うという供養のためではありません。亡き人を偲び、わが身・わがいのちを振り返る大切な時といただくべきでしょう。仏法聴聞をとおして、仏さまの恩を感じ取ってほしいとの先祖の願いをいただくのです。

《浄土真宗のお盆の迎え方》

お内仏を清掃し、打敷をかけ、供物を備えます。送り火・迎え火はしませんし、精霊棚も設けません。先祖の霊の乗り物といわれている馬や牛に見立てたキウウリやナスの作り物もありません。



お内仏のお荘厳

『仏事ひとくちメモ』（東本願寺真宗会館）より

お知らせ



永代経会

八月七日(土)

十一時半

御斎

一時半

永代経会法要

二時

法話「真宗門徒の心得」

徳永寺前任職(越前町上野)

平等 明信師

三時

物故者総墓収骨

永代経会とは、亡き人から願いをかけられて生かさせていたでいる私達が、亡き人を偲び、亡き人に感謝申し上げる法会であります。

このかけがえのない法会に、ご家族、ご親族、ご法友お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますようお願い申し上げます。
コロナ感染防止対策に、充分配慮致しております。 合掌

ボランティア募集!!

永代経会・お盆を前に

寺周辺の

草刈り作業に

ご協力下さい!!



日 時 七月十八日(日)

八時集合

持 物 草刈機もしくは鎌、軍手 等

傷害保険 加入します。

小 雨 決行します。

炎天下で恐縮ですが、ご協力頂ける方は、七月十五日(木)までに地区役員、もしくは祐善寺までお電話下さい。

草刈り作業のみならず、草むしり等の作業もありますので、どなたでもご協力いただけます。皆様、ご協力下さいますよう、どうかよろしくお願い致します。

お知らせ

子ども報恩講&納涼祭を中止します

当寺の目玉行事となりました「子ども報恩講&納涼祭」は、昨年に引き続き、中止とさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染状況が終息の兆しをみせない一方、ワクチンの接種も、当初の計画よりも大幅に遅れているために、毎回、百人前後の人がご参加下さる「子ども報恩講&納涼祭」を実施することが困難な状況です。

「子ども報恩講&納涼祭」は、当寺の特色ある行事として注目されるまでに育てていただきましたので、来年は、必ず実施できることを願っております。



編集後記

この頃言葉使いのなかで気になることがある。子供でも大人でも、更にはテレビ等でも。

「全然(ぜんぜん)」とは否定的な表現をするときに使うものと思っているが、この頃は「全然大丈夫」などと言う。拍子抜けしてしまう気持ちである。

「やばい」も自分が不利になる状況のときの言葉が、感心したり小さな驚きの表現として使っている。「すごい可愛い」とか「すごい美味しい」は「すごく」だろうか？

あるテレビニュース番組で「犬がー頭」とアナウンスしていて「一頭?一匹?」ついついこだわってしまう。メディアは言葉を正しく使うことも大切な役割だろうと思っているが、それでもないようだ。

平安時代では「全然」は肯定的な表現に使っていたと聞いたことがある。

文章を書くことが無くなり、感情を文字化して発信してしまうSNSやLINE。時代を経て言葉の使い方も変わり、若者言葉や流行言葉についていけない私は「それってこいつのこと?なんだね」って柔らかな聞き直すことで「ヤマヤ」を解消していくしかないようだ。

永代経会へ、皆様、お誘いあわせの上、ご参詣下さいますようお願い。

(上野養治)